

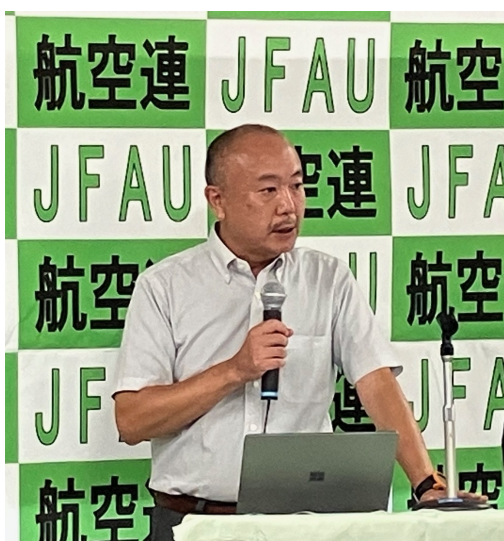
労働条件を上げ
魅力ある航空に！

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1056 (40-1) 2025 年 9 月 12 日

航空連第 40 回定期総会

持続可能な航空へ 労働条件は安全を支える基盤 — 今後 1 年間の運動方針を決定 —



開会挨拶する赤坂議長

えられました。

GHU（JGS 労組、JGS 大阪労組、JGS 九州労組）からは、組織間の連携によってシニアの休日問題を前進させたことが報告され、JAS 新労組からは特定技能 1 号外国人労働者の採用が増加し、社内の状況が変化しつつあることが報告されました。エミレーツ航空労組からは、「一時金交渉は日本の慣習を本国の担当者に理解させることから始まる」と述べ、粘り強い交渉によって成果を勝ち取ったことが紹介されました。さらに JCU からは、KLM オランダ航空での雇止め撤回裁判と全日空不

航空連は9月7日、第40回定期総会をハイブリット（対面参加+オンライン）で開催しました。総会では、過去1年間の活動総括と今後1年間の運動方針、第39期決算と第40期予算、さらには当面する25年末闘争の日程について、全会一致で決定しました。

報告では、3年連続でベースアップを勝ち取ったことや24年末での一時金引き上げ、さらには職場施設の改善や熱中症対策が着実に前進したことが紹介されました。各労組からも具体的な取り組みや成果が共有されました。

CCU からは、客室乗務員の休憩問題をめぐる裁判の状況や、FRM（疲労リスク管理）の基準づくりに向けて航空局に要請を行った経過が報告されました。ACA からは、シニアパイロットの働き方、そして定年延長が労使間の議題になっている現状が伝



当労働行為事件が解決に至ったこと、中堅・LCCの航空3社との春闘交渉を進めたことが報告されました。

新たな取り組みとして、SNSを活用した活動が本格的に進められており、今後のさらなる拡大が見込まれています。

国際活動については、千明幹事が I T F 世界大会および I A M 運輸会議への参加報告を行いました。

以上